株式会社 電通
105-7001　東京都港区東新橋 1-8-1
koho@dentsu.co.jp
https://www.dentsu.co.jp/

NEWS RELEASE

2025 年 7 月 8 日

電通、Snowflake、企業間データ連携を安全に実現する プラットフォーム「Tobiras Shared Garden」を開発、提供を開始

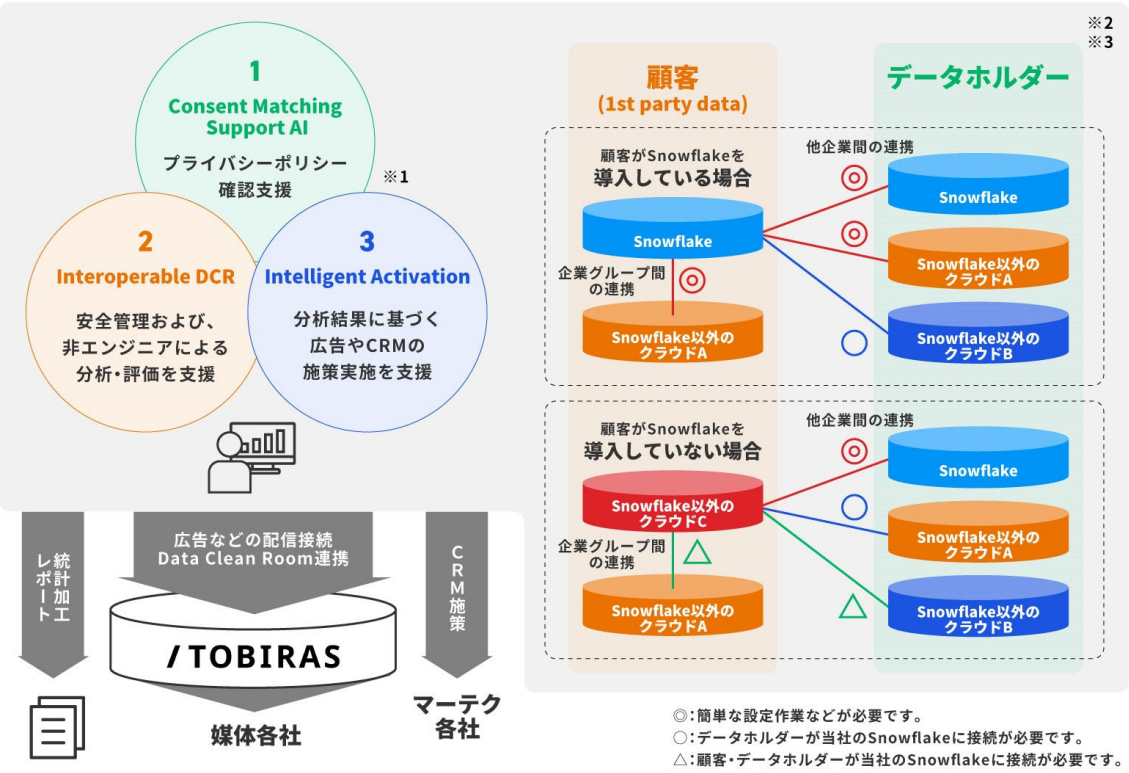
―クラウドフリーで企業間データの利活用を促進し、マーケティング ROI の最大化に貢献―

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：佐野 傑）と Snowflake 合同会社（日本法人：東京都中央区、社長執行役員：東條 英俊、以下「Snowflake 社」）は、顧客が保有する 1st Party データの企業間連携およびクラウド基盤構築に関する戦略的パートナーシップに合意をしました。両社は、企業グループ内・他企業間のデータ連携を促進し、マーケティング ROI（mROI）の最大化を支援するプラットフォーム「Tobiras Shared Garden（トビラス・シェアード・ガーデン）」（以下、TSG）を開発し、提供を本日より開始します。

TSG は、既存のシステム環境に依存せず、マルチクラウド（クラウドフリー）で柔軟かつ安全なデータ連携を実現するプラットフォームです。これにより、顧客は、企業グループ内・他企業間や、当社がアライアンスを構築したデータホルダー、プラットフォーム企業とのデータ連携が可能となります。また、顧客の環境において、より自由度の高いデータ利活用によって、広告施策や CRM（Customer Relationship Management）の効率化を実現します。

〈「Tobiras Shared Garden」システムイメージ〉

/Tobiras/SharedGarden



近年、1st Party データの取得範囲と深度が拡大する中、企業にはこれらのデータを利活用することによる mROI の向上が期待されています。その一方で、プライバシーポリシーに基づく同意範囲の管理や、システムの安全性確保といった課題により、企業グループ内であってもデータ連携が難しいケースが多く見られます。

特に、複数のデータソースを活用する際には、それぞれ異なるプライバシーポリシーに対応する必要があり、それぞれのデータソースから提供される個人データの同意範囲を適切に管理するには多大な労力を要します。また、一度データを送付すると、送付先のデータを更新できないうえ、無断コピーや目的外利用を防ぐ手段も限られていることがデータ連携上の障壁となっていました。

TSG は、当社が年間 1000 件以上（累積 3000 件以上）運用してきたデータクリーンルームの知見を生かして設計しており、これらの課題を解決する 3 つの機能を備えています。①連携データに関連する複数のプライバシーポリシーを読み込み、同意内容と一致する表現を抽出・リスト化し、プライバシーポリシーの確認を支援する機能＝「Consent Matching Support AI」、②データ連携における安全管理措置を支援し、基本クエリを用意することで、非エンジニアでも分析を可能にする機能＝「Interoperable DCR」、③分析結果に基づき、目的に応じた広告や CRM の施策実施を支援する機能＝「Intelligent Activation」、の 3 つです。これらの機能により、顧客は柔軟かつ安全にデータ連携を実現することができます。

また、TSG は、Snowflake 社のマルチクラウド対応のプラットフォーム上に構築されていることから、顧客は自社環境内で効率よく安全に 1st Party データを管理・連携・分析することが可能です。料金体系には「固定費＋従量課金制」を採用しているため、初期コストを抑えてスモールスタートすることもできます。

なお、本取り組みは国内電通グループのデジタル領域をけん引する株式会社電通デジタルと連携し、機能拡充を推進すると同時に、当社の統合マーケティング AI エージェントと連携することで、顧客の mROI 最大化の実現および、AI トランスフォーメーションを支援していきます。

当社は今後、対応クラウドの拡大に加え、Snowflake 社が提供する主要 AI ソリューション※4 を活用することで TSG を強化し、顧客の mROI 向上に貢献していくとともにグローバル各市場への展開も進めていきます。

※1　TSG を活用したデータ連携では、各種データは当社の環境を経由せず、安全に処理されます。（ただし、顧客が一部のクラウドにのみ対応している場合や、媒体 DCR との接続時には、当社環境への連携が必要となるケースがあります。）

※2　国内大手クラウド企業に複数対応しています。

※3　データ連携および利活用にあたっては、案件ごとに法務判断が必要となります。

※4　Snowflake 社が 5200 社を超える企業への AI 導入実績を通じて新たに発表した Openflow（構造化データのみならず、画像や動画ファイル等の非構造化データを統合的に取込み・処理を可能にするサービス）、Snowflake Cortex AI（複数の LLM を効率的に切り替え・活用する AI 機能群）、Semantic Views（メタデータの再定義・統合整備を支援する機能）などの新ソリューション。

■Snowflake 合同会社 会社概要

代表者	社長執行役員　東條 英俊
所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲 2 丁目 2 番 1 号　東京ミッドタウン八重洲　八重洲セントラルタワー30F
設立	2019 年 6 月
本社	Snowflake Inc.　所在地：米国モンタナ州ボーズマン　CEO：Sridhar Ramaswamy
事業内容	世界的企業を含めた 11000 を超えるユーザーに、Snowflake の AI データクラウドを利用したデータ共有、アプリケーション構築、AI によるビジネス強化を支援し、特に 5200 社を超える企業に簡単かつ効率的で信頼性の高い AI・生成 AI の機能を提供しています。2024 年度においての昨年売上比は 30%増加しています。 URL https://www.snowflake.com/ 業績の詳細 https://www.snowflake.com/en/news/press-releases/snowflake-reports-financial-results-for-the-fourth-quarter-and-full-year-of-fiscal-2025/?lang=ja

以上

【リリースに関する問い合わせ先】
株式会社電通コーポレートワン　ブランディングオフィス　広報室　広報部
河南、竹村、韮山

【事業に関する問い合わせ先】
株式会社電通　データ・テクノロジーセンター　グローバル開発部

Email：koho@dentsu.co.jp